

# 教理講座 第1回

- ・ イントロダクション 教理とは
- ・ 第1回 「靈感された聖書」
- ・ 質疑応答
- ・ 牧師先生からの言葉

# 教理とは

(コトバンク)

宗教上の道理または理論。

ある宗教,宗派が真理と認めている教えの体系。教義。

# 目次

- |    |             |     |           |
|----|-------------|-----|-----------|
| 1. | 靈感された聖書     | 9.  | 聖化        |
| 2. | 唯一のまことの神    | 10. | 教会とその使命   |
| 3. | イエス・キリストの神性 | 11. | 教職        |
| 4. | 人間の墮落       | 12. | 神癒        |
| 5. | 人間の救い       | 13. | 祝福に満ちた望み  |
| 6. | 教会の礼典       | 14. | キリストの千年統治 |
| 7. | 聖霊のバプテスマ    | 15. | 最後の審判     |
| 8. | 聖霊のバプテスマの証拠 | 16. | 新天新地      |

# 聖書のことば

神の靈感によって書かれた 超自然的書物 絶対



## 教理

靈感されて書かれたものというわけではない。  
聖書の真理をすべて包含しているわけではない。  
が、キリスト教を理解する上で大きな助けとなる。

# 第1回 「靈感された聖書」

# 聖書（旧約・新約）

逐語的に神に靈感されているもの。

人間に対する神の啓示。信仰と行為の誤りなき規範。

Colossians

# 逐語

翻訳や解釈などで、  
一語一句を原文に忠実にたどること

# 聖書（旧約・新約）

## Colossians

逐語的に神に靈感されているもの。  
人間に対する神の啓示。信仰と行為の誤りなき規範。

すべての聖書記者は、聖霊に支配され、神の権能によって語り、書いている。

これは、聖書が神の書物、神のみ言葉で、他に存在し得ない超自然的な書物で世のすべての他の書物と異ならしめている。

# <その根拠となる御言葉>

## 聖書が神の靈感によって書かれたということを示す御言葉

### テモテへの第二の手紙 3:15-17

また幼い時から、聖書に親しみ、それが、キリスト・イエスに対する信仰によって救に至る知恵を、あなたに与える書物であることを知っている。聖書は、すべて神の靈感を受けて書かれたものであって、人を教え、戒め、正しくし、義に導くのに有益である。それによって、神の人が、あらゆる良いわざに対して十分な準備ができて、完全にととのえられた者になるのである。

### テサロニケの信徒への手紙一 2-13

このようなわけで、わたしたちは絶えず神に感謝しています。なぜなら、わたしたちから神の言葉を聞いたとき、あなたがたは、それを人の言葉としてではなく、神の言葉として受け入れたからです。事実、それは神の言葉であり、また、信じているあなたがたの中に現に働いているものです。

### ペトロの手紙二 1-21

なぜなら、預言は決して人間の意志から出たものではなく、人々が聖霊に感じ、神によって語ったものだからである。

## テモテへの第二の手紙 3:15-17

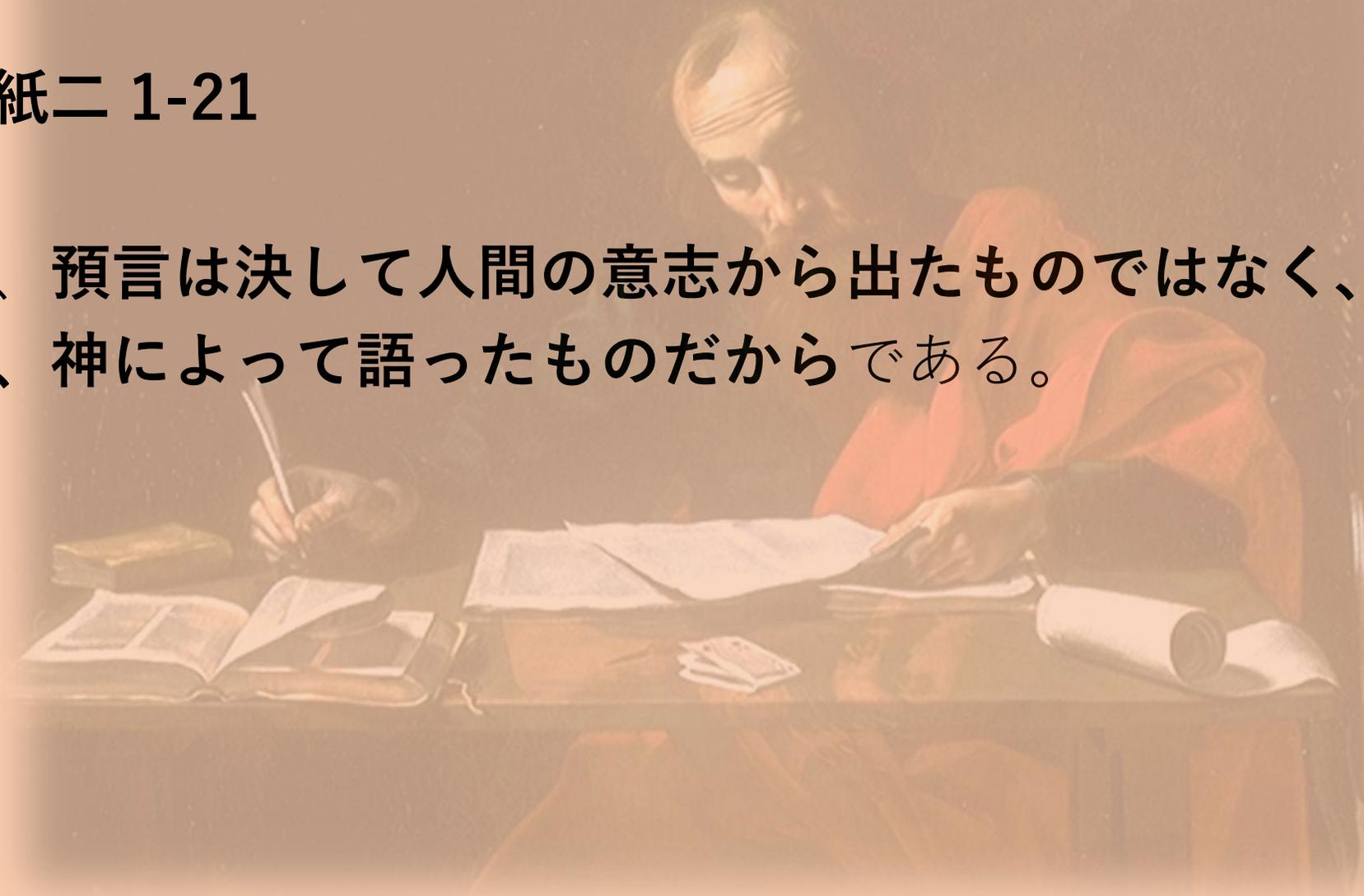
また幼い時から、聖書に親しみ、それが、キリスト・イエスに対する信仰によって救に至る知恵を、あなたに与えうる書物であることを知っている。 **聖書は、すべて神の靈感を受けて書かれたものであって、**人を教え、戒め、正しくし、義に導くのに有益である。それによって、神の人が、あらゆる良いわざに対して十分な準備ができて、完全にととのえられた者になるのである。

## テサロニケの信徒への手紙一 2-13

このようなわけで、わたしたちは絶えず神に感謝しています。なぜなら、わたしたちから神の言葉を聞いたとき、あなたがたは、それを**人の言葉としてではなく、神の言葉として受け入れた**からです。**事実、それは神の言葉であり、また、信じているあなたがたの中に現に働いている**ものです。

## ペトロの手紙二 1-21

なぜなら、預言は決して人間の意志から出たものではなく、人々が聖霊に感じ、神によって語ったものだからである。



# 聖書とは

## 旧約

古い契約（神がシナイ山でモーセを通してイスラエル民族に与えられた契約を指す）  
イエスキリストが地上に来られる前の書物  
（ヘブル語で書かれた39巻（ヘブル語原典では24巻）がある。）

## 新約

イエスキリストがご自分の血によって新しい契約をたててくださった。  
この契約に関する書物。（ギリシャ語で書かれた27巻がある）

この旧・新合計66巻が私たちの聖書

旧約と新約の間に、『旧約聖書続編としての外典15巻』を入れたものがあるが  
プロテスタント教会ではこれらの書物を正式に聖書（正典）とは認めていない。

外典を聖書（正典）として認めない理由は、靈感問題と関係がある。

聖書の靈感説には種々の説があるが  
私たちは、「聖書は原典ににおいて、そのすべての部分にわたって平等に神の靈感を受けて書かれている。そして、その靈感は逐語的に、すなわち主な教え、思想だけでなく、すべての言葉にまで及んでいる。」というものである。

よって、聖書は、「人間に対する神の啓示であり、信仰と行為の誤りない権威ある規範」である。

聖書靈感というのは  
ふつうの靈感

(聖霊様が語りかけてああするとかこうするとか)  
とは別の、**特別の靈感**である。

聖書を書くためだけに  
**特別に与えられた靈感**である。

そして、この**聖書**で既に完成している。

**聖書靈感**というのは、ふつうの靈感（聖霊様が語りかけてああするとかこうすると

か）とは別の、**特別の靈感**である。

**聖書を書くためだけに特別に与えられた靈感**である。

## 黙示録22章18～19節

**18** この書の預言の言葉を聞くすべての人々に対して、わたしは警告する。もしこれに書き加える者があれば、神はその人に、この書に書かれている災害を加えられる。

**19** また、もしこの預言の書の言葉をとり除く者があれば、神はその人の受くべき分を、この書に書かれているいのちの木と聖なる都から、とり除かれる。

## 黙示録22章18～19節

18 この書の預言の言葉を聞くすべての人々に対して、わたしは警告する。もしこれに書き加える者があれば、神はその人に、この書に書かれている災害を加えられる。

19 また、もしこの預言の書の言葉を取り除く者があれば、神はその人の受くべき分を、この書に書かれているいのちの木と聖なる都から、取り除かれる。

**この聖書で完成しているのである。**  
**この聖書に付け加えた教典を示したり**  
**聖書を変形して示している**  
**(モルモン教典とか統一教典とか) ものは、**  
**聖霊から示された、とか言ったとしても**  
**まさにそれは異端である。**

聖書を読み、実践することによって  
私たちは神の願っている人間像に到達する  
ことができる。

聖書は毎日個々人の生活の中で実践してい  
くものである。

# しかし、注意することは

これを読む者たちが正しく解釈しなければ意味がない。

字義的に(言葉や文章を文字そのものの意味に基づいて解釈すること。)解釈しなくてはならない。

ある聖句を1つだけ文脈から取り出して解釈するときとんでもない間違いを犯すことがある。

## しかし、注意することは

これを読む者たちが正しく解釈しなければ意味がない。  
字義的に(言葉や文章を文字そのものの意味に基づいて解釈  
すること。)解釈しなくてはならない。

ある聖句を1つだけ文脈から取り出して解釈するとき  
とんでもない間違いを犯すことがある。

**聖霊の助けを求めながら  
素直に読み取り実践していくことが大事。**

そうするときに

聖書の言葉は信じる者たちの中に現実に働いてくれます

その宣言は真実であり、約束は成就する

「この天地は滅び去ります。しかし、わたしのことばは決して滅びることがありません。」

(マタイ 24・35)

# <そのほか、聖書はすべて神の靈感によって書かれたということを信じる理由>

1. イエスは旧約聖書を完全に認められた。
2. 聖書はひとりのおかたによって書かれたものである。
3. 聖書の預言は、この書が神よりのものであることを示している
4. 聖書の道徳的基準はこの書が神よりのものであることを示している。

<そのほか、聖書はすべて神の靈感によって書かれたということを信じる理由>

5. 人間の創造者が聖書を書かれた方である。
6. 聖書は救いについての唯一の道を示している
7. 聖書は世のある限り存続する

1. イエスは旧約聖書を完全に認められた。

## マタイによる福音書 5章18節

はっきり言うておく。

すべてのことが実現し、天地が消えうせるまで  
律法の文字から一点一画も消え去ることはない。

## 2. 聖書はひとりのおかたによって書かれたものである。

聖書66巻は1600年間に異なった場所、異なった環境に住む40人の著者によって書かれた。

にもかかわらず、それらは明らかな1つの統一体を作り上げている。

また、のちに書かれたものとも決して矛盾はしていない。

これは、人間記者を制御しておられた一人の主がおられたと考えることによってのみ説明される。

## 2. 聖書はひとりのおかたによって書かれたものである。

### 1 ペテロ 1 の 10 ~ 11

この救いについては、昔の預言者も完全に知っていたわけではありません。救いの預言はしましたが、それが実際には何を意味しているのか、自分でもよくわからなかったのです。

心の中のキリストの御霊が何を語っておられるのか、理解していませんでした。聖霊は、やがてキリストの身にふりかかる苦難と、それに続く大きな栄光とを書きとめるように命じられたのです。彼らは、いったいそれが、いつ、だれに実現するのか知りませんでした。

## 2. 聖書はひとりのおかたによって書かれたものである。

### ヨハネの黙示録 19の10

わたしは天使を拝もうとしてその足もとにひれ伏した。すると、天使はわたしにこう言った。「やめよ。わたしは、あなたやイエスの証しを守っているあなたの兄弟たちと共に、仕える者である。神を礼拝せよ。イエスの証しは預言の霊なのだ。」

2. 聖書はひとりのおかたによって書かれたものである。

## ヨハネによる福音書 5:39

あなたたちは聖書の中に永遠の命があると考えて、  
聖書を研究している。

ところが、聖書はわたしについて証しをするものだ。

2. 聖書はひとりのおかたによって書かれたものである。

## ヨハネによる福音書 5:46

あなたたちは、モーセを信じたのであればわたしをも信じたはずだ。  
モーセは、わたしについて書いているからである。

2. 聖書はひとりのおかたによって書かれたものである。

## ルカによる福音書 24:27

そして、モーセとすべての預言者から始めて、聖書全体にわたり御自分について書かれていることを説明された。

### 3. 聖書の預言は、この書が神よりのものであることを示している

預言者たちが、個々の人間、町々、民族、世界について非常に詳しく預言したようなことを、初めから終わりまでを知っておられる全能の神以外に誰が知り得ようか。キリストに関しては、誕生から伝道、メッセージ、死、復活、また栄光の中に来たり給うことなどを詳細にあらわされた。

### 3. 聖書の預言は、この書が神よりのものであることを示している

## 1ペテロ 1の10～11

この救いについては、あなたがたに与えられる恵みのことをあらかじめ語った預言者たちも、探求し、注意深く調べました。

預言者たちは、自分たちの内におられるキリストの霊が、キリストの苦難とそれに続く栄光についてあらかじめ証しされた際、それがだれを、あるいは、どの時期を指すのか調べたのです。

## 4. 聖書の道徳的基準は

この書が神よりのものであることを示している。

4. 聖書の道徳的基準は  
この書が神よりのものであることを示している。

## テモテへの第一の手紙 6:16

神はただひとり不死を保ち、近づきがたい光の中に住み、人間の中でだれも見つかる者がなく、見ることもできないかたである。ほまれと永遠の支配とが、神にあるように、アアメン。

4. 聖書の道徳的基準は  
この書が神よりのものであることを示している。

## ペテロの第一の手紙 1:16

聖書に、「わたしが聖なる者であるから、あなたがたも聖なる者になるべきである」と書いてあるからである。

4. 聖書の道徳的基準は  
この書が神よりのものであることを示している。

## エペソ人への手紙 5:27

こうして、一点のしみも、しわも、何の傷もない、きよく完全な栄光の教会として、迎え入れようとされたのです。

## 5. 人間の創造者が聖書を書かれた方である。

### ヘブライ人への手紙 4:12

というのは、神の言葉は生きており、力を発揮し、どんな両刃の剣よりも鋭く、精神と霊、関節と骨髄とを切り離すほどに刺し通して、心の思いや考えを見分けることができるからです。

## 6. 聖書は救いについての唯一の道を示している

### ローマの信徒への手紙 11:33-36

ああ、神の富と知恵と知識のなんと深いことか。だれが、神の定めを究め尽くし、神の道を理解し尽くせよう。「いったいだれが主の心を知っていたであろうか。だれが主の相談相手であったであろうか。だれがまず主に与えて、その報いを受けるであろうか。」すべてのものは、神から出て、神によって保たれ、神に向かっているのです。栄光が神に永遠にありますように、アーメン。

## 7. 聖書は世のある限り存続する

### 詩篇 119 の 89

主よ、あなたのみ言葉は天においてとこしえに堅く定まり

### マタイによる福音書 5:18

よく言っておく。天地が滅び行くまでは、律法の一点、一画もすたることはなく、ことごとく全うされるのである。

# 出典

P.C.ネルソン 『基本的聖書教理の学び』 福音出版社

伊藤顕栄著 『「基本的心理に関する宣言」解説』 福音出版社

ご清聴ありがとうございました。

質疑・応答

牧師先生からの言葉